



「江辻区 菜の花畑で」 杉浦啓太君(花ヶ浦区)

議会だより

かすや

3月議会号

NO.128

平成25年5月10日発行

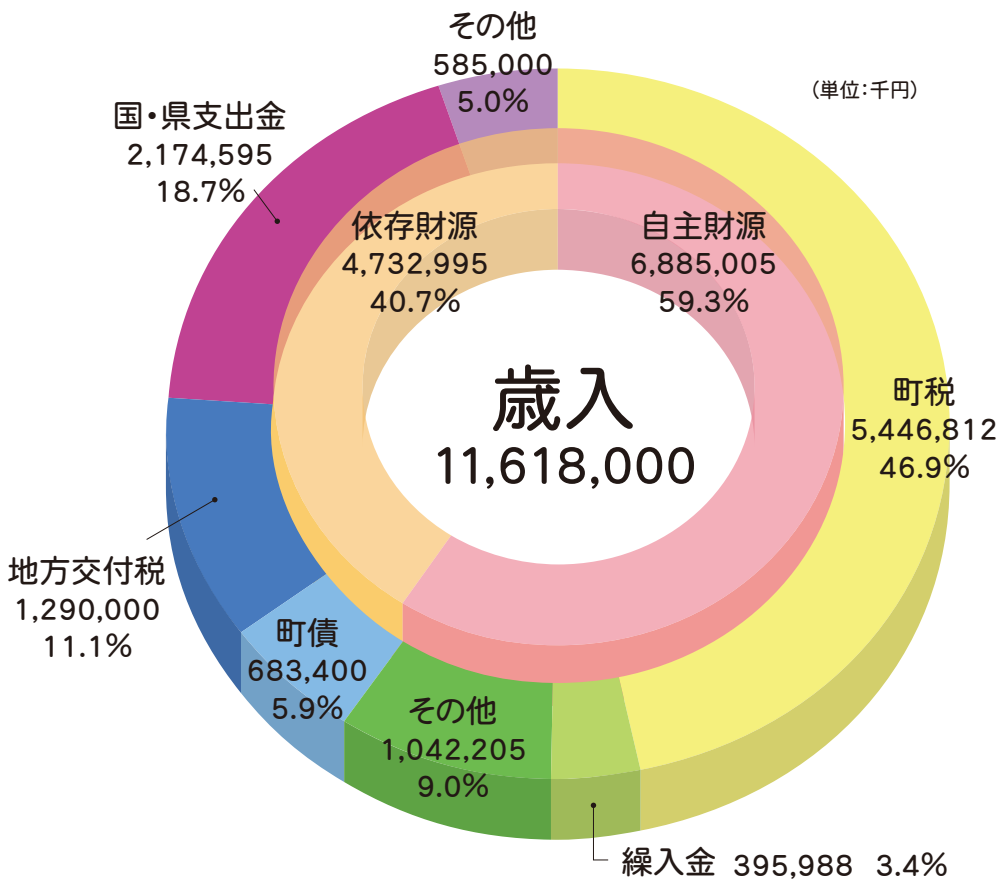
平成25年第1回定例会
平成24年度補正予算
一般質問9人
町民ひろば

16 7 4 2

評価システム!

1800万円 (前年度比 1.7%増)

事業予算が明確に



平成25年第1回定例会を3月1日～22日の期間で開きました。平成25年度当初予算、平成24年度補正予算を含め、計35議案、意見書2件、発議1件を審議しました。結果は、35議案、意見書2件、発議1件を可決し、一般質問は9人が行いました。

特別会計

○ 国民健康保険	42億9018万円	7.4%	↑
○ 後期高齢者医療	4億0150万円	0.1%	↑
○ 介護保険	17億9419万円	10.3%	↑
○ 住宅新築資金	355万円	7.8%	↓

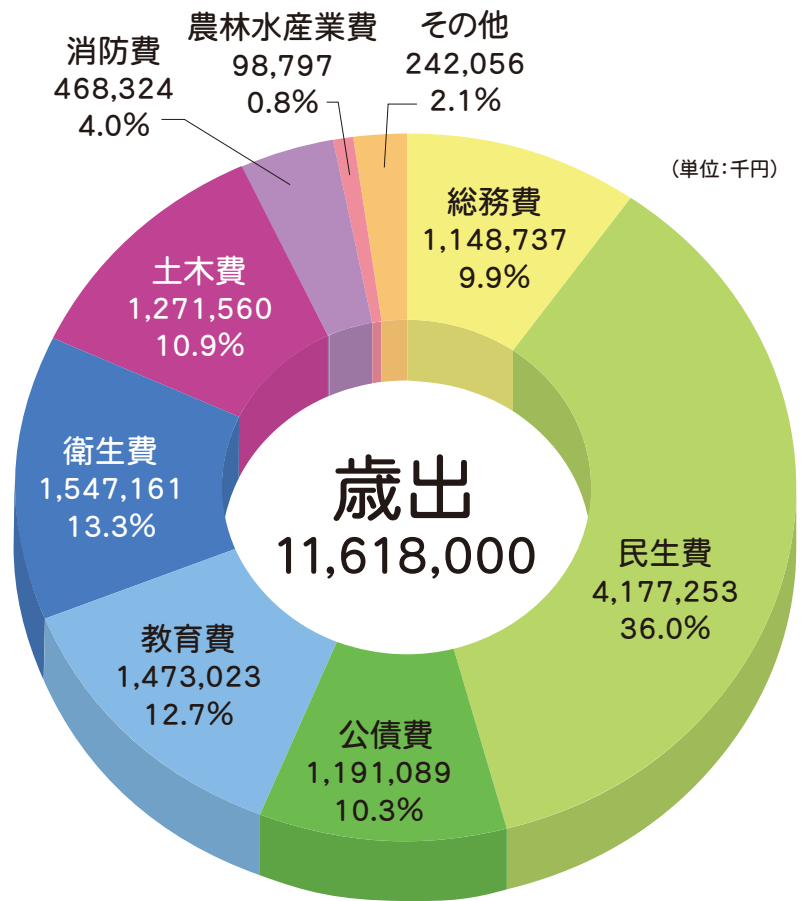
活かせるか行政

平成25年度一般会計予算 116億

総合計画に基づいてすべての

付帯決議

平成25年度一般会計当初予算において、議会から意見を付しました。
 学校給食調理場建設に伴うPFIアドバイザー業務委託料に関する執行予算は執行部と議会との認識の相違がみられました。
 予算特別委員会は予算編成権と執行の財政権は理解しつつ、予算の議決権は議会のみが有する権限であることから、今後も互いに尊重し、付かず離れずの原則にて、信頼関係を継続しなければなりません。
 よって、建設準備室の予算執行には
 * 十分な検討を重ねられ、慎重に対応すること
 * 議会とも説明・経過などを含め十分協議すること



行政経営マネジメントを推進

粕屋町では限られた予算の中で効率的な行政運営を行うために事業別予算の編成、公会計制度の導入、行政評価における事業評価の見直しなど新たな取り組みを進めています。今回の行政評価システム導入後初めての議会審議となりました。

平成25年度 その他の当初予算

1万円未満は四捨五入

企業会計

事業	金額 (万円)	前年比
○ 上水道事業	13億1797万円	3.5% ↑
○ 下水道事業	20億7860万円	4.5% ↓

補正予算

一般会計総額

126億8032万円!!

賛成多数で可決
(賛成:14人・反対:1人)

主な事業と予算

大川小第1期大規模改造工事
1億3933万円



屋上防水工事予定の大川小学校

粕屋中第1期大規模改造工事
2億5094万円



大規模改造工事予定の粕屋中学校

財政調整基金
1億2942万円

福岡県市町村災害共済基金組合からの返納金のうち上記を普通納付金として積み立てる

土地開発公社利子補助金
4億0000万円

土地売却時原価割れによる債務10億円の補填として

公共施設整備基金積立金
5009万円

老朽化した公共施設の改築や修繕にあてるため積み立てる

緊急雇用創出事業
臨時特例基金事業
2290万円

25年度も延長されるが前年度より県の基準が厳しくなり減額となった

平成24年度

歳入・歳出 8億6127万円を可決

(単位：千円)

歳出入	事業名	補正額	主な内容
歳入	総務費県補助金	▲22,900	事業費の減額に伴う補助金の減
	福岡県市町村災害共済基金繰入金	243,102	任意納付金繰入金 114,297 普通納付金繰入金 128,805
	宝くじ交付金	72,790	市町村振興宝くじ交付金決定通知 オータムジャンボ 8,818 サマージャンボ 69,972 (今年度まで)
	教育債事業	191,200	大川小第1期大規模改造事業 55,000 粕屋中学校第1期大規模改造事業 136,200
	町たばこ税	40,000	H24年度決算見込みによる増
	教育費関連補助金	112,759	大川小学校 32,050 粕屋中学校 80,579
	歳入欠陥補填収入	59,804	本年度財源不足分
歳出	電子自治体構築推進事業	▲17,000	業務システム法改正対応委託料減
	地域情報化推進事業	▲8,500	緊急情報システム構築委託料又賃借料の減
	流域関連公共下水道補助	50,000	流域関連公共下水道会計補助金
	道路改良新設事業	▲12,100	道路用地借上料、防犯灯新設工事、峰屋敷・向川原県道路新設工事 その他の工事の負担金減
	衛生手数料	2,000	ごみ袋売却代金の増
	子宮頸ガン等ワクチン接種事業	3,542	受診勧奨による接種者増加による
	がん検診事業	1,959	実績見込みによる不足額
	乳幼児医療費助成事業	▲5,000	医療費の減
	出産育児諸費事業	▲12,600	出産見込みの減による
	町営住宅管理運営事業	46,000	上大隈団地屋根断熱防水工事及び外壁改修工事 ほか
	町立保育所運営管理事業	▲6,500	実績による嘱託手当臨時賃金減
私立保育所運営事業	▲55,351	入所児童数実績による減	

3月定例会における、主な議案に対する 各議員の賛否結果一覧

議案名		副町長の選任同意について	粕屋町危険廃屋(放置空き屋)などの適正な管理に関する条例	粕屋町道路占用料(電柱・電話柱)徴収条例の一部改正	粕屋町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定(法で設置義務)	24年度 粕屋町一般会計補正予算	24年度 粕屋町国民健康保険特別会計補正予算	24年度 粕屋町後期高齢者医療特別会計補正予算	25年度 粕屋町一般会計予算	25年度 粕屋町国民健康保険特別会計予算	25年度 粕屋町後期高齢者医療特別会計予算	25年度 粕屋町介護保険特別会計予算
○⇒賛成 ●⇒反対 一⇒退席 欠⇒欠席												
議案番号		1号	5号	6号	19号	20号	21号	22号	26号	27号	28号	29号
所属委員会	採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
	(賛成/反対)	15/0	15/0	12/3	15/0	14/1	14/1	13/2	15/0	12/2	13/1	13/1
	付託委員会	総務	総務	建設	厚生	予算	予算	予算	予算	予算	予算	予算
総務	安川 俊彦 正	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	山脇 秀隆 副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	川口 學	○	○	●	○	○	○	●	○	●	●	○
	澁田 順二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本田 芳枝	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	小池 弘基	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
建設	伊藤 正 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長 義晴 副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安河内利明	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	欠
	八尋 源治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
厚生	向野 正幸 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	因 辰美 副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	浦元 甫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	久我 純治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	田川 正治	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○
	進藤 啓一	議長は、採決に加わりません。										

☆議案名については、解りやすい文言に置き換えています。

☆予算=予算特別委員会(全議員)

議員より提出された意見書

【粕屋町議会で可決された意見書(案)は、意見書として国へ提出します】

件名	提出議員	付託委員会	結果	
			委員会	本議会
TPP(環太平洋経済連携協定)への不参加を求める意見書	川口 學 田川 正治	建設	可決 賛成:2 反対:0 欠席:1	可決
中小企業の再生・活性化の充実強化を求める意見書	浦元 甫 山脇 秀隆	建設	可決 賛成:2 反対:0 欠席:1	可決



本田 芳枝 議員

行政経営マネジメント



出典：粕屋町ホームページ

行政評価制度と職員の意識改革は

町長／部長の役割が非常に大切になります

本田

町では、平成23年度から総合計画に基づいたフル

事業フルコストの行政評価システムを採用しており、25年度の予算に初めてそのシステムが活きる予算編成をされました。

部制を導入することによって可能となった事業の統廃合や、事務分掌の整理はどのように遂行されたのか、この制度の進捗状況を問います。

町長

行政評価システムの主な目的は評価された内容

結果を予算編成や町の総合的かつ基本計画へ反映させ、事務事業の改革、改善に活用することです。

マスタープランで施策の方向を決めています。

それを各部長に周知徹底させます。

組織は人で持っていますので、組織人にかに資質が必要か、この町を発展させるもさ

指導員と係の連絡会を定例化に

学校教育課長／内容などが定着すれば可能

本田

学童保育で子どもの保育を担当するのは指導員です。

その指導員の待遇は経験、資格あるなしにかかわらず、どんなに頑張っても半年雇用の臨時職員となっています。

教育委員会との連絡は密にされているのか、各施設の現場の様々な課題への取り組みをどのような形で事業全体に反映しているのかを問います。

せないも職員の資質にかかっています。

そういった意味で、今後とも職員の資質向上を、部長中心に図っていきます。

- ① 担当の係と指導員の会議の構成、回数、運営の改善や課題への取組への対策は
- ② 保護者アンケートの結果はどのように活かされるのか

八尋学校教育課長

- ① 4 施設の各班長 12 名、学校教育課職員、教育長による連絡会

を24年度は3回行いました。

保育レベルの平準化や質の向上などの協議を図り、25年度も連絡体制強化も含め実施の予定です。

② 保育所ごとに課題を整理し改善の検討を行い2月に改善案の提出がありました。このアンケートは毎年実施します。



中央小学校学童保育所施設が建設される幼稚園北側のイモ畑付近

給食センターの建て替えは公設・公営で

町長／PFI方式は民営化ではなく官民一体

田川 私は、1年前

にこの学校給食センターの建て替え

問題が町から提案されたときから、公設・公

営で町が直営で行い、自校方式や親子方式、

センター方式で町が責任を持つべきだと提案してきました。

近年、安全・安心であるべき学校給食が、輸入食品の冷凍物が多く使われて被害が出たり、またO157で子供がなくなつて犠牲者が出たことで、自治体の責任で子供たちに学校給食を提供することが大変、重要視されるようになりました。

粕屋町の農産物を使用し、地産・地消を広げ、民営化するのでは

なく、将来を担う子供たちに、公設・公営での給食センターを運営すべきです。

最終的な責任の所在も町にあります。

町長 PFI方式は民営化するのでなく、民間の資金とノウハウを活用しながら、民間ができることは民間で行い、食の安全にかかわる最も重要な根幹部分、例えば献立の作成、それから材料の調達及び点検などは町で行います。

また、栄養士は県職員、センター長は町職員を配置し、官民一体となつてセンター事業を行う手法です。

事業主体はあくまでも公共施設の管理者であります町にあり、最



給食センター調理室



田川 正治 議員

田川 日本共産党町議団で、アンケートを集約したら、民間委託と民営化は20%で現在のセンター方式、自校方式、親子方式など、町の直営での実施が80%でした。

小中学校の保護者の意見、要望をアンケート調査で行うように何度も議会で提案したがどうなったのか。

大塚教育長 学校給食委員会のメンバーに、校長、PTA会長が入つておりますので、この結果につきましても報告をしています。

その他の質問

- 保育所の建替えと待機児童の解消
- 国民健康保険税の一世帯一万円引き下げ
- 県道原町・伊賀線の道路の拡幅



川口 學 議員

災害時の防災弱者救済対策の充実を

町長／防災・減災につとめ安全な町に

四

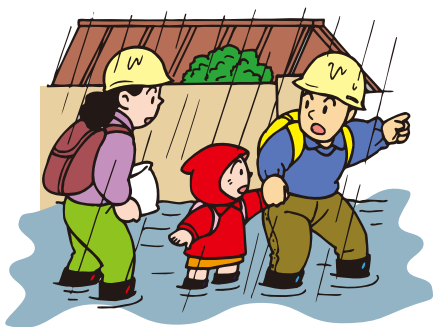
東日本震災の教訓から避難対策で肝心なことは、

次の点が指摘されている。

避難所で一番困ったのは、トイレ、水の確保、ねたきり老人を布団ごと運べるリヤカーや担架。

停電に備えた小型発電機などである。

町での備えを問う。



町長

備えあれば憂いなしという

言葉もあるように、自主防災組織を各行政区に立ち上げ、避難所開設の訓練や災害備品の配備、浸水危険地域では高層ビル所有者と協定し、弱者救済対策には支援者登録を進め見守りネットワークを構築いたします。

子供の医療費補助年齢の引上げを

町長／粕屋地区市町一体ですすめたい

四

本年4月より糟屋郡各町が

小学校6年（入院）まで補助を引上げられました。全国的には、56.1%の自治体がすでに中学生以上の医療費補助を実施している。

一年でも早い中学生

までの無料化実現を求めます。

町長

粕屋地区内でも古賀市（18歳）新宮町（中学生）までの医療費補助を実施

しています。

表粕屋6ヶ町でも協議して、議員の趣旨にそって合意をすすめたと思います。

学校給食センター建替えについて

町長／アドバイザーの中で再検討したい

四

町は住民アンケートもとらずに建設、調理、運送に至る全てを大手民間会社に委託するPFI方式をすすめている。

全国で町で施行したのは、一町だけで、浜田市、田辺市では可能

性調査の結果、供用後30年の公費負担をみると、削減メリットが少ないとして断念した例を調査し、慎重に検討すべきでは。

食を見込み、PFI方式での可能性調査の結果、従来の方式より多額の縮減が15年間の試算でみられる。

地元業者選定は留意し、27年度4月供用開始をめざしています。

町長

10年先を予想して7,000

合併協議会設置を粕屋町から

町長／合併問題は全く考えていない

久我

昭和46年福岡市よりの合併

話しも、平成19年12月議会の合併協議会設置話しも議会によって否決されました。

理由は町民のためとの事ですが、今だ町民の人たちには理由の説明もない。

本当は役場や議員たち自身の問題ではないかと言われているが、議会改革で本議会が世界中に映像配信されてパソコンでも見れるようになりましたが、町民、住民の人たちは本当にそれを望んでいるのでしょうか。

今でなくずつと先の粕屋町を見据えて合併問題にも決断する時ではないでしょうか。

町長

議会みずから否決された事です。

今の所、合併については全く考えていない。

粕屋町はもうすぐ44,000人になります。

住みやすい安全・安心のまちづくりをしていくというのを踏まえて行政をやっています。



これからの保育園、届出保育園は

町長／待機児童が出れば保育園をつくる義務



久我 純治 議員

久我

粕屋町は毎年待機児童が出るたび認可保育園をつくってまます。

今年も待機児童がでるそうです。

来年は町立保育所の民営化、それとも新設の保育園ですか。

町内には8つの届出保育園が有り、約130名の町内の園児が通っている。

数の上では、認可保育園と同じ規模の数の園児です。

大きな保育所をつくるには大きな土地や資金が入ります。

福岡市が進める小さな保育園でもいいのでは。

届出保育園に現状とは別に何か助成できないものですか。

児童は将来の町の担い手であり、町の宝ですから。

町長

待機児童が出れば保育所をつくるのは町の義務ですから。

130人余りの子供を預かってある届出保育園にありがたいと思っている。

民営化又建て替えるとか子育ての中で考えて取り組みたい。

来年から届出保育園、町内在住者一人に1万円を1万5千円に補助金を上げます。



元気に遊ぶ届出保育園の子どもたち



澁田 順二 議員

県道伊賀～仲原線の道路拡幅を

町長／早急に手を打つ

澁田 地主の方への納税猶予が今年5月で切れる。

行政区長、農区長を交え地主さんとの協議を急ぎ早期着工を望むが。

町長

問題の箇所は車道及び歩道が狭く危険な箇所となっております。

ご指摘のとおり5月



道路拡幅が望まれる県道伊賀～仲原線

に納税猶予が解除になりますので、事業主体であります福岡県道整備事務所へ平成25年度の事業化につきまして強く要望しております。

また地元区長さん農区長さんに働きかけ早い時期に地権者の方との協議を行いたいと考えております。

公園管理を住民の手で

町長／その方向で地元と進める

澁田 地域住民待望の阿恵大池公園が3月に完成する。

公園を良好な状態で

使用できるように手軽にできる除草清掃などを利用者をお願いしては。

また、子供を含めた長者原下区、原町区に年2回総出の清掃を呼びかけては。

子供に対しては生きた教材になるし今後の公園管理をモデルケースにしては。

町長

住民による清掃などのボランティア活動は地域の公園を自分たちできれいにする大切なことだと思います。

軽微な除草、落ち葉

の清掃などは地域で対応していただきたく思います。

そのため、長者原下区、原町区と清掃活動について協議を重ね協定書を31日に締結の予定です。



阿恵大池公園

小・中学校の教室確保と新規の建設は

町長／校舎増築が課題、新規の建設断定できない

長

粕屋町は他町に比べて人口増加が進み5年前より小、中学校合わせた生徒が479人増加しています。

また、学級数についても13学級増の86学級で今後教室が足りなくなる事が予想されます。教室の確保と新規の小学校建設について尋ねます。

町長 この2年間の出生者数は

700名を超えており小、中学校の校舎増築が課題となっております。一昨年中央小学校を増築（8教室）しましたが、現在の年次計画で26年度粕屋中、28年度

大川小、仲原小、30年度には西小、31年度には東中、の増築と目白押しに学校増築を考えていかなければならない状況にあります。

なお新たな小学校建築計画はないと断定は出来ませんが31年度まで当面のいで行きたい。



校舎増築が予定されている粕屋中学校

多々良川河川改修と浚渫について

町長／早期の浚渫を申し入れたい



長 義晴 議員

長

多々良川河口から上流のJR香椎線までの河川改修の進捗状況と大川小学校横の多々良川の上、下流域の薬師堰、古屋敷堰の改修計画あわせて河川に推積している土砂の浚渫が必要と考えるが、町はどのような取組みをされているのかお尋ねしたい。

町長 福岡市河口からJR香椎線

までの河川改修の進捗状況は80%で多々良川水系6町で「期成会」を作り国、県、地元国会議員に強く整備促進を

要望しています。

また、国のアベノミクスで経済再生という中で予算確保がしやすい状況もあり再度県に早期の浚渫を申し入れたい。

松永都市政策部長

粕屋町内の河川改修に伴う用地買収は80%の14,400㎡を買収済で一部平成25年雨水橋下流の左岸を測量し、その後、堤防工事が予定されている。



浚渫が急がれる多々良川



小池 弘基 議員

通学路の安全対策の現状は

町長／安全対策は現在進めています

小池

施政方針の中で、通学路の安全対策の点検を行った結果、改良の必要な箇所が数多く存在したとありましたが、これらの安全性の確保に向けた歩行者の交通安全対策の整備状況の考えについて尋ねます。

町長

教育委員会と都市整備課と協働のまちづくり課、関係部署で調査をしています詳しくは都市政策部長から答弁させていただきます。



安全対策が急がれる原町本通り

松永都市政策部長

学校、警察、道路管理者などが連携、共同して通学路の安全点検を行い、危険箇所の安全対策を図ることとなりました。

第1段階は本庁4小学校に通学路の危険箇所の洗い出しを依頼し、教育委員会、学校、PTA、各行政区長、警察、協働のまちづくり課、都市整備課により、抽出された78カ所の危険箇所につきまして、

自然災害など今後の防災対策は

町長／防災対策は進めています

小池

施政方針の中に、自主防災組織を確立し、地域住民と消防団、町職員が連携しながら、協働で防災訓練を通して防災知識、技術の習得と向上を図っていくとありますが、講習会を通し

て今後町としてどのように考え、指導していくのか尋ねます。

町長

安全で安心なまちづくりを進めるためには、町内15カ所において防災に関する出前講座を24

度に行っています。

住民の皆様へは、耐震補強や家具の固定などみずからの備えを、また災害を迎え打つための共助の実践、自主防災組織の確立を積極的に取り組んでいきたいと思っております。



1月27日に行われた原町区防災会議

子育て関連法実施の準備は

住民福祉部長／子ども会議を設置し事業計画を

山脇 平成24年8月
に子ども・子

育て関連3法が成立し
ました。

幼児期の学校教育、
保育、地域の子ども・
子育て支援を総合的に
推進することを目的と
しています。

平成27年4月に本格
実施されます。

本格実施に向けて国
の動向を見極めつつ、
円滑にことが進むよう
に万全の準備をしてお
く必要があります。

工藤住民福祉部長

今回の主なポイント
は、一つには、認定子
ども園制度の改善。二
つ目には、新たな給付
型の創設。三つ目には、
地域子ども子育て支援
の充実です。

平成25年度に地方版
子ども・子育て会議を
設置し、子育て世代の
ニーズ調査を行います。
平成26年度の初めに
事業計画を策定、今回
の事務を一元的に実施
するため子ども未来課
で担当を予定していま
す。



3才から5才児に防災教育を

町長／園児に伝わる教育を各園に周知



山脇 秀隆 議員

山脇

幼児からの防
災教育は、自
助の立場から重要だと
いわれています。

幼児の防災教育は、
遊びや歌を通して日頃
から災害から身を守る
ための動作や集団行動
に効果があります。

また、実際の高い技
術や高い知識をかみ砕
いて教えていく必要も
あります。

粕屋町の幼児の防災
教育をどのように考え
るか。

町長

自分の身は自
分で守る自助
の考え方を3才から5
才までの幼児にどう伝
えていくのか。

各園での創意工夫に
よって園児に伝わるよ
うな教育をしてもらい
たいと思います。

東日本大震災での釜
石の奇跡では、昔から
の自助の教えが活かさ
れ全員が助かったとい
うことです。

園児にしっかり伝わ
る訓練を各園するよ
う周知していきます。



安川 俊彦 議員

福岡東環状線の道路工事について

町長／平成30年開通に向けて地元と協議し進めたい

安川

平成25年度の重点施策は「都市と自然のバランスのとれた快適なまち」の実現で具体的な取り組みとしては、福岡東環状線などの建設を進めることで、交通の利便性を図り生活基盤を支えるインフラの整備について質問をいたします。

町長 計画区域の20%の用地買収済み、JRとの立体交差の構造は決定し線路かさ上げ方式は協議中です。

安川

道路整備の効果とデメリット

ト対策について考えると、効果は多義に渡るがいずれも車社会をベースにしたインフラ整備で、沿線地域住民は日常生活に多くの不安と犠牲を強いられるが。

町長 事業主体の県と共に地元と協議しながら道路建設に向け頑張ります。✓



通学路の危険箇所

内橋く大隈線の道路整備について

町長／歩道新設で対応したい

安川

幹線道路開通後は取付道路の通過車輛が大幅に増えることから、歩道整備による地域住民の安全・安心を守るための対策を。

町長 幹線道路開通後は取付道路の通過車輛が大幅に増えることから、歩道整備による地域住民の安全・安心を守るための対策を。

松永都市政策部長

狭い道である内橋バス停横の歩道を新設することで地権者と協議中です。

安川

取扱い道路工事区域内の共有墓地移転にともなう代替地確保は。

松永都市政策部長

県が地元と協議を進めており、町も支援し確保につとめたい。

安川

通学路の安全確保について

関係機関との協議は。

町長

幹線両側に4.5mの歩道を整備し交差点の信号制御や小学校前の横断歩道橋も計画し、関係地域や学校関係とも今後協議を進めたい。



新設歩道の現況

県内初のボタン採決

平成25年3月定例議会より、各議員が、議席に設置されたボタンで賛成を示す採決方法を導入しました。

また、議会の動画中継をインターネット配信する取り組みなどとともに、傍聴者や視聴者に分かりやすくするため、約2600万円をかけ機器を改修しました。

是非とも、パソコンを使って議会を傍聴されませんか。

投票結果																
出席議員数		賛成		反対		総投票数										
0		15		0		15										
1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	11番	12番	13番	14番	15番	16番	17番
	小池 弘基	田川 正治	長 義晴	久我 純治	因 辰美	本田 芳枝	伊藤 正	益田 順二	安川 俊彦	向野 正幸	安河内 利明	山脇 秀隆	浦元 甫	川口 學	八尋 源治	進藤 啓一

賛成ボタンを押した議員の名前

編集後記

私たち議会だより編集委員会メンバーは、町民の皆様へ分かりやすく、読みやすい議会だよりをめざし、さまざまな研修会や視察をおこないながら、改善をおこなってきましたが、早いもので今期最後の議会だよりの発行となりました。

また、議会も粕屋町のさらなる発展に、議会基本条例の制定や、議会報告会の開催に今後とも取り組んでまいります。

4年間、町民の皆様には、お読みくださいまして、ありがとうございました。

小池 弘基



新任の議会事務局次長
青木 繁信さん(写真右)と
新任の議会事務局次長
古賀 博文さん(写真左)

次回の6月議会は

6月14日(金) 9時30分開会予定
17日(月) 一般質問予定



議会だより編集メンバー

委員	委員	委員	副委員長	編集委員長	議会広報編集特別委員	議長	発行責任者
小池 弘基	田川 正治	長 義晴	久我 純治	本田 芳枝		進藤 啓一	

発行：粕屋町議会
〒811-2392 福岡県糟屋郡粕屋町駕与丁1-1-1
TEL092-938-0161 FAX092-938-3150